

中学生のみなさんへ

みなさんが、これからの中学生の中で、自らの可能性を伸ばし、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、よりよい地域・社会の創り手となっていくために、自分らしい生き方への実現に向け、以下の力をさらに伸ばしていくことを願っています。

《中学生生活でさらに伸ばしてほしい4つの力》

<p>【人間関係形成・社会形成能力】</p> <p>多様な他者の考え方や立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考え方を正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力</p> <p>《例》 他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップなど</p>	<p>【自己理解・自己管理能力】</p> <p>自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動するとともに、自らの感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力</p> <p>《例》 自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動など</p>
<p>【課題対応能力】</p> <p>仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力</p> <p>《例》 情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善など</p>	<p>【キャリアプランニング能力】</p> <p>「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力</p> <p>《例》 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など</p>

みなさんには、授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、これらの力を伸ばし、自ら成長させることを意識してほしいと思います。

そして、この「キャリア・パスポート」で、中学生生活を振り返ったり見通したりしながら、学びの軌跡を記録し、積み重ねていくことが、みなさんの今後の人生を創っていくための「道しるべ」になることを願っています。

桃谷中学校のみなさんへ

桃谷中学校で卒業までに身につけてほしい力とは

本校は、70年以上にわたる、もと勝山中学校ともと鶴橋中学校の歴史と伝統を引き継いで、統合により新たに開校した学校です。統合の準備段階から、保護者、地域の方の支援を受けて、生徒自らが校名や校章をはじめとした学校づくりに取り組んできました。

社会的変化が著しい将来を見据えて、本校の学校教育方針は「夢と志を持って可能性に挑戦し、人生を切り拓くことができる生徒を育てる。」を掲げています。そして、学校教育目標は「自律した人間として主体的に行動し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する生徒を育成する。」で、そのキーワードの三つが校訓「自律 協働 創造」です。この校訓を常に心に留めて、自身を成長させ自分らしい人生を生き抜く力を身につけてください。

キャリア・パスポートを作成するねらい

キャリア教育とは、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育成する教育です。中学校では、職場体験や職業講話もその学習になります。中学校卒業後の進路先の選択といった狭い意味としてとらえるのではなく、小学校・中学校・高等学校を通して自分の生き方や将来像を考えていくことが、キャリア教育の学習として重要になります。

この「キャリア・パスポート」を節ごとに作成して、学んだことの「振り返り」とこれから「見通し」を持つことに取り組んで、その記録を蓄積していきます。それは、まさしく旅行のパスポートのように、自分らしい生き方という人生の旅の記録が記された宝物になっていくはずです。先生や家族の方のメッセージをいただきながら、将来の自分を創り上げていきましょう。

生徒たちへのメッセージ

開校記念式典の生徒会代表による「桃谷中学校宣言」に、「辛いときには励まし合い、喜びは分かち合い、ときにはぶつかり合ってお互いを高め合える『仲間』を増やすことができました。これからは、生徒会が考えた『お互いに認め合い、助け合い、高め合う生徒』に向かって進んでいきます。」の強い誓いの言葉がありました。この言葉を生徒の皆さんには忘れないでください。

統合を経験した本校の生徒、桃中生だからこそ、環境の変化や困難なことに出遭った時も自ら考えてどう行動するかという大切な学びを、身をもって体得することができました。日々の活動においても、思うようにいかないことがあると思います。しかし、その時こそ、自身を成長させる大きなチャンスです。しっかりとその出来事を受け止めて、前向きに全力で取り組んでいきましょう。

令和2年7月
桃谷中学校 校長 原口 貴美子